概要版

国語科「読むこと」において、 自分の言葉で考えを表現できる児童の育成

一語彙指導の改善と言葉に着目して振り返る「一語一会」の設定を通して一

令和2年度 前橋長期研修研究員 原田 秀美

研究の概要

主題設定の理由

小学校学習指導要領(平成29年告示)解説国語編

・「言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する」とし、学習内容の改善・充実として語彙指導が挙げられた。

令和2年度前橋市「各教科等指導の努力点(国語科)」

「互いの考えを言葉で伝え合い、考えを広げ深める授業」を充実させる必要があるとし、児童の言葉によって、 考えを広げ深めていくことが重要であるとされる。

児童の実態

- ・自分の言葉で思いや考えを表現するための語彙が十分ではない。
- ・「読むこと」において、叙述を根拠にして豊かに想像したり、自分の考えを伝え合ったりすることができる児 童が少ない。

教師の指導の実態

- ・児童の語彙を豊かにするために、言葉に着目させたり吟味させたりする語彙指導ができていない。
- ・「読むこと」における「精査・解釈」の学習過程では、児童が叙述を基にして考えを広げ深めるための発問の 工夫や、児童一人一人が自分の考えを表現する場が設定できていない。

目指す児童の姿

言葉に関心をもち、叙述を基に想像したことや考えたことを自分の言葉で表現できる児童

研究のねらい

小学校国語科「読むこと」において、自分の言葉で考えを表現できる児童を育成するために、語彙指導の改善と 言葉に着目して振り返る「一語一会」の設定が有効であることを、授業実践を通して明らかにする。

研究の見通し

手立て1

【語彙指導の改善】

「読むこと」の学習において、児童が語句の量を増やしたり自分の表現で使ったりするために、「指導の重点とする語句」を可視化したり、「叙述を基に読み取る上で大切であると考えられる語句」(以下「読み取る上で大切な語句」)を精選したりして、それらの語句を意図的に取り上げる。

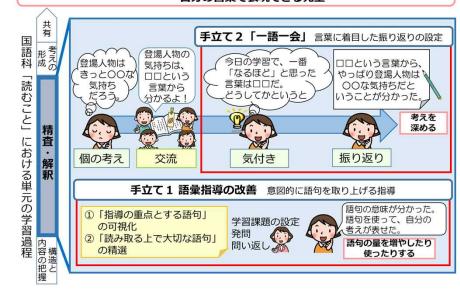
手立て2

【言葉に着目して振り返る 「一語一会」の設定】

「読むこと」の学習において、交流 を通して気付いたことを生かし、自分 の考えを深める場として、言葉に着目 して振り返る「一語一会」を設定する。

研究構想図

【目指す児童の姿】 言葉に関心をもち、叙述を基に想像したことや考えたことを 自分の言葉で表現できる児童



実践の概要

第4学年 気持ちの変化を読み考えたことを話し合おう(教材 「ごんぎつね」新美南吉作)全11時間

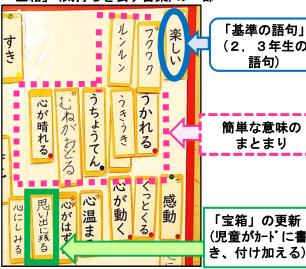
【目標】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。【知(1)オ①】 登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。【思C(1)エ】

手立て1 語彙指導の改善

1 「指導の重点とする語句」の可視化(4年〇組言葉の宝箱)

教科書巻末の「言葉の宝箱」の語句を参考に「4年〇組言葉の宝箱」(以下「宝箱」)を作成し、授業の中で「宝箱」の 語句を意図的に取り上げました。

「宝箱」(気持ちを表す言葉)の一部



(2.3年生の

(児童がカードに書 き、付け加える)



第4時(第2場面)では、「宝箱」から「反省」を取り上げ、 意味を確認したり別の言葉で言い換えたりしました。



「反省」とはどういうことですか

いたずらなんかしなけりゃよかった おれのせいだっていう気持ち

他にも似た意味の言葉はありますか

「あんなことしなけりゃよかった」 っていうのは、「後かい」の気持ち

「くやむ」とも言うよ

「後かい」や「くやむ」も宝箱に付け加えたいね

「反省」を「後かい」「くやむ」と言い換えることで、2場面 での「ごん」の気持ちを、より具体的に想像することができま した。

「読み取る上で大切な語句」の精選 **(2**)

登場人物の気持ちの変化を具体的に想像するために「読み取る上で大切な語句」を精選し、学習課題の設定や発問、問 い返しなどを行いながら意図的に取り上げました。

6場面で、つぐない続け「兵十」に撃た れてしまう「ごん」の「兵十」への思いを豊、 かに想像させるために、第5時(第3場面) _ で想像させたいことは…



第5時(第3場面)の導入では、「つぐない」という語を取 り上げました。辞書的な意味だけでなく、文脈上の意味を考 えたり別の言葉で言い換えたりしました。

いたずらを後悔し、兵十に<u>つぐない</u>を始めた 「ごん」の気持ち

自分と同じひとりぼっちになった「兵十」に 親しみを覚える「ごん」の気持ち



「つぐない」と「ひとりぼっち」を設定

「読み取る上で大切な語句」

時間(場面)	「読み取る上で大切な語句」
第3時(第1場面)	いたずらばかり・ちょいと
第4時(第2場面)	しおれていました ちょっ、あんないたずら
第5時(第3場面)	つぐない・ひとりぼっち
第5時 (第3場面) 第6時 (第4·5場面)	つぐない・ひとりぼっち かげぼうし・ふみふみ つまらない・引き合わない

学習課題「ごんは、なぜそんなにもつぐないをするのか」

「つぐない」とはどういう意味ですか。 教師

辞書には「おかしたあやまちをお金や品物でうめ合わせ A児 をすること」と書いてあったよ。

「ごん」は「兵十」にいたずらをしてしまったから、そ B児 のかわりにくりや松たけをもっていっているんだよね。

教師 「ごんぎつね」を初めて読んだ感想に、「ごん」は「兵

十」にお礼をしているって書いている人もいたけれど、 「ごん」のつぐないは兵十への「お礼」ですか。

お礼っていうのは、だれかに「ありがとう」って感謝する C児 気持ちだよ。「ごん」は「兵十」に感謝してたのかな。

D児 「ごん」はいたずらをしてとても後かいしていたから、 「兵十」に「ごめんなさい」とか「許してほしいって気持 ちなんじゃないのかな。だから、「つぐない」は「お礼」 とはちがう意味だと思うよ。

「つぐない」について考えると、ごんの気持ちが想像でき 教師 そうだね。今日も言葉に着目しながら「つぐない」をする 「ごん」の気持ちを想像してみよう。

こうして児童は「つぐない」という語から「ごん」の気持ちの 変化を想像し始めました。

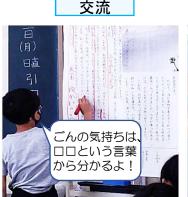
言葉に着目して振り返る「一語一会」の設定 手立て2

本実践では、第3時から第7時(精査・解釈)の終末に、言葉に着目して振り返る「一語一会」を設定しました。



個で考える





気付き



振り返り



今日の学習で、「やっぱり」 とか「なるほど」と思った 言葉はあったかな?



「一語一会」とは

言葉との出会いを 大切にし、自分の 読みが深まったり、 新しく気付いたり したことを振り返り ます。

今日の学習で 「やっぱり」「たしかに」 「へえー」「なるほど」 と思った言葉を一つ選びま しょう。

言葉の説明や、自分の読 みが広がったり深まった りしたこと、思ったこと を書きましょう。

語一会カード 組 番 名前

読みを広げ深めた言葉(本時の「一語」) (教科書の叙述・他の児童の言葉)

- 選んだ言葉についての自分なりの説明
- 読みが広がったことや深まったこと
 - 思いや考え

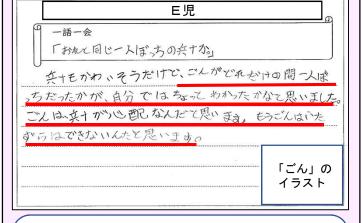
第5時(3場面)

学習課題

ごんは、なぜそんなにもつぐないをするのか

宝箱の語句:「反省」「後悔」

読み取る上で大切な語句:「つぐない」「ひとりぼっち」



「おれと同じ一人ぼっちの兵十か」から、「兵 十」につぐないをしようとした「ごん」の気持ちを 具体的に想像している。

いたずら好きだった「ごん」が変わり始めたこと に気付いている。

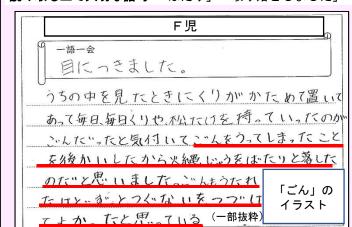
第7時(6場面)

学習課題

ごんの気持ちは兵十に伝わったか

宝箱の語句:「にくい」

読み取る上で大切な語句:「ばたり」「取り落としました」



「火なわじゅうをばたりと取り落としました」 から、「兵十」が「ごん」のこれまでしてくれて いたことに気付き、「ごん」を撃って後悔してい ることを想像している。

「兵十」へ気持ちが伝わった「ごん」の気持ち を具体的に想像している。

「ごん」や「兵十」の気持ちが想像できる言葉に着目し、その日の学習を振り返ったことによって、交流を通して 自分なりに読み取ったことに気付き、考えを深めることができた。

研究のまとめ

手立て1【語彙指導の改善】

事前事後アンケートより

あなたが知っている「気持ちを表 す言葉」を書き出してください。 平均 18.6個 20.0 15.0 平均 7.4個 10.0 5.0 0.0事前 事後

学習感想より

- わからない言葉があったら自分から 国語辞典で調べることができるよう になった。
- ごんの気持ちを表すときに言葉のた から箱の言葉をいっぱいつかえるよ うになった。たから箱の言葉は、気 持ちを表すときにとても表現しやす いので、使うと便利だと思った。

G児の変容

【初発の感想】

ごんはきっともう少し兵十にお礼がした かったし、よろこんでもらいたかった。



【第5時の「一語一会」】

『おれと同じひとりぼっちの兵十か』 ごんは兵十をなぐさめようとくりなど を置いていき、いたずらぎつねがやさし いきつねに変わっていった。

兵十が心配だったから、後かいや反省 をしたから、ごんはやさしくなって、**つ ぐなえた**と知った。(一部抜粋)

- 〇児童が知っている気持ちを表す語句の数が大きく増えた。
- 〇言葉への意識が高まったり、自分の表現に使おうとしたりする姿が見られた。
- 〇叙述に出てきた語句について文脈上の意味を捉え、自分の考えを表現する場面で使うことができるようになってきた。

【言葉に着目して振り返る「一語一会」の設定】 手立て2

「一語一会」より

検証の観点

- ①言葉に着目し、自分なりの 説明を記述している。
- ②思ったことや考えたことを 記述している。

①②の観点について「一語一会」を 記述している児童の割合 100 80 20 第3時(1) 第4時(2) 第5時(3) 第6時(4.5) 第7時(6)

児童の割合

- ① 第3時67% → 第7時96% 29%増加
- ② 第3時14% → 第7時75% 61%増加

〇気持ちの変化を想像できる言葉に着目し、その語句について自分なりの説明を記述することができる児童が増えた。 〇本時の「一語」を自分で選び、それを基にして振り返ったことで、多くの児童が自分の考えを深めることができた。

手立て1・2を通して

言語活動より

検証の観点と児童の割合

①言葉に着目し、自分なりの 説明を記述している児童

→96%

②選んだ言葉を中心に思っ たことや考えたことを自分 の言葉で記述している児童

C→100%

H児の言語活動「ごんぎつね一語一会」

青いけむりがまだつつ口から細く出ていました。

いつもひそかにがんばっていたごんを兵十は、火縄じゅ うでうってしまった。うったあとに兵十はくりや松たけを もってきてくれたのはごんだったんだと思ってもとりかえ しがつかない。まだうってから時間がたっていないけど、 たったようなかんじがする。やっぱりごんがしたつぐない は、ぜったいにむだじゃなかったのだと思う。ごんは空に いってうれしそうにみていたのかもしれない。

学習感想より

- 「一語一会」を書いて いくうちに、「自分の 言葉」で書けるように なってきた。
- ・たくさんの言葉が見つ **けられて、お話がもっと** 深く温かく切なく感じ られるようになった。

〇手立て1と2を取り入れた指導を積み重ねたことで、児童は語句を蓄積しながら登場人物の気持ちをより具体的に想像 し、自分なりの言葉で考えを表現できるようになった。

成果と課題

語彙指導の改善を通して、児童は言葉への意識が高ま り、授業で取り上げた語句を自分の表現でも使うように なった。「一語一会」の設定を通して、交流での気付き を生かし自分の考えを深めることができた。2つの手立 てを通して、多様な言葉に着目しながら考えを深め、自 分の言葉で表現する児童の姿が見られた。

語彙の習得には個人差が大きいことがわかった。児童 の語彙の習得状況を見極めながら、個に応じた指導を工 夫することが必要である。

国語科で自分の考えを豊かに表現できる児童を育成す るために、「読むこと」の説明的な文章や他の領域にお いても語彙指導や振り返りの充実について指導を工夫 し、汎用性を高めていくことが必要である。